

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 放課後等デイサービスあるふあ

公表日 令和7年2月26日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	1	3	曜日によっては、空きスペースなどを利用して活動しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	2	多機能型事業所であり、状況によっては応援職員を配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	3	事業所が2階であり、注意をして支援をしています。	見守りや注意喚起をしながら行っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	1	限られたスペースの為、環境等工夫して行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	2	スペース的に個別の部屋は提供して	曜日によっては、空きスペースなどを活用もしていきます。
営	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	2	2		ミーティングで職員から意見を取り入れます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			

業務改善	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1		ミーティングで職員から意見を取り入れます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	3		第三者委員会は設置していない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	1	法人としての研修に参加している。	研修時間を確保する必要がある。
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	1	現在作成中。	3月中に作成、公表します。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4			

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	2	多機能型事業所であり、新たな活動プログラムは設けていない。	5領域に応じた支援プログラムを作成します。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		個々に応じて、できる範囲で活動を勧めています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	1		多機能型事業所であるが、支援内容の確認時間を作っていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	2		児童の迎えや送迎等もあるため、翌日行っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4			
	23	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	4			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4			

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		児童発達支援管理者が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		保護者から同意を受け、予定表などを確認しています。対応が必要な児童には、密に学校教諭と連携して支援しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4		必要に応じ、保護者や相談支援専門員を通して行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4		依頼があれば提供します。	個人情報であり、保護者から確認をして提供します。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	2		必要に応じて、相談支援専門員を通して連携を図っていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		4		検討中
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	2		検討中
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4				

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1		必要に応じて、保護者向けのセミナーなど情報提供を行います。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		契約時に行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	2	特に設定等していない。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4			日々の活動状況を開放を通して提供しています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4		地域に開かれた事業所を目指し検討します。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		感染症の研修を行っています。	防犯を兼ねた研修を就労事業所と一緒にいきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		法人の内部研修に参加しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		提供物の表示を毎回確認して提供をしています。	保護者に検査資料の提供も求めています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		年2回、避難訓練を実施し、児童に安全確認をしています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			

53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		動画研修や内部研修を設けています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		現在、対象者はいません。	

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービスあるふぁ

公表日 令和7年2月26日

利用児童数 16

回収数 12

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	1				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	9	2		1	利用児童の人数が分からないので配置数が適切か分からない。	職員の配置について説明していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	1		1	食事エリアと余暇スペースが区切られている。	限られたスペースを有効活用しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11	1			いつも清潔感があると感じている。	
適 切	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	1			一人ひとりの子どものことをとても分かっていていてくれると思います。いつも感謝して	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10	1		1	支援内容プログラムに合っていると思います。	3月中に支援プログラム公表します。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12				子どもを理解した上での計画だと感じています。また、自分が子に望む内容と一致していま	

な 支 援 の 提 供	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10	1		1	子ども本人だけでなく、何かあればまめに親にも連絡をいただいているし、家族という点においても十分やっていただいています。	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10	1		1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	1			様々な行事や内容を実施してくれて子どもも楽しんでいる。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	1	1	4		地域に開かれた事業所を目指し検討します。
保 護 者 へ	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11	1				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10	1				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	2	1	5		モニタリング時等に相談を受け付けます。研修会等の情報をお伝えしていきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	12				とてもできているし、先生方の雰囲気良く子に何か起きてても伝えやすい。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	1	1		子育てに関して悩んだ際、親身に聞いてくださり、いつも元気づけていただいている。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11	1			子どもの状況を把握しながら共感的支援がされている。	

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	2	3	4	保護者会等は特に必要と感じないため、現状のままでよいと思う。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	1		1		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	8	1		3		日頃の様子を写真を掲示する等し、保護者へ報告しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11	1				
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	1		3		マニュアル等については、説明する機会を設けます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4	1		7		避難訓練を年2回実施しています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9	1		2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	1		1	事故が発生した場合がないので分からない。その際はすぐ連絡をくださる先生方だと思う。	小さな怪我など大事に至らないよう保護者へ報告し、必要に応じ受診を促します。
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	11	1				

満足度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	9	3				季節ごとに行事など楽しめるものを提供します。
	29	事業所の支援に満足していますか。	11	1				

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスあるふぁ		
○保護者評価実施期間	令和7年2月3日		～ 令和7年2月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	令和7年2月3日		～ 令和7年2月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月21日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	環境・体制整備 限られたスペースなため、集団的活動が取り組まれている。 多機能型事業所である。	曜日によって、空きスペースをさらに有効活用し支援を図っている。	集団で取り組むプログラムを取り入れる。就労事業所が併設されていることから中学生以上には長期休みに就労体験を取り入れる。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	業務改善 第三者委員会の設置が検討されていない。	外部の評価・意見が少ない状況にある。外部機関との関わり、連携も必要である。	第三者委員会設置を検討する。保護者懇談会を設置し、意見を取り入れ改善を図る。
2	適切な支援の提供 支援プログラムが公表されていない。	公表することにより、事業所の取り組み・内容がオープン化され、事業所評価や質の向上に繋がる。	3月中に支援プログラムを公表し、それに沿った活動を提供する。
3	緊急時の対応 現状は火災・地震等の避難訓練実施のみである。	不審者を想定した訓練を行うことで、職員・利用者の防犯意識に繋がる。 緊急の際の利用者の応急手当等の取り組みが必要である。	就労事業所と一体となり不審者対応訓練を実施する。 救命救急講習に参加し、緊急時の対応を学習する。